



新庄小学校だより 12月号



雑談のすすめ

校長 山口 浩二

◆テレビ中心の時代

かつてスマホやタブレットがなかった時代。メディアといえばテレビが中心で、家族いっしょにニュースやドラマを見ながら雑談する時間が、今よりも多くあったように思います。対話を通して、わが子の興味や関心ごとが分かったり、わが子が抱えている課題に気付けたりしました。また、その雑談は、大人の考えや価値観、社会の常識を子供たちに伝えるうえで貴重な時間でもありました。たとえば、メディアの情報はいつも正しいとは限らないということ、ニュースやワイドショーは加工された情報もあり、タレントの中には極端な意見を言うことで人気を博している人もいるといったような情報の一面についても、家族でテレビを見ながら教えていくことができた時代でした。坂東眞理子さんも著書「親の品格」の中で、テレビを通して家族で雑談することの重要性を指摘しておられます。

◆多様なメディアの時代

今や時代が進み、大人だけでなく子供もタブレットやスマホを持つようになり、メディアも多様化してきました。家庭においても一人一人が端末を持ち、それぞれの視線はテレビだけでなく個々の画面に向けられるようになりました。

先日、本校で情報モラル講座がありました。その中で、メディアの利用時間について話題が出たのですが、かなりの児童が、長時間にわたってゲームやタブレットの画面を見て過ごしているという実態が明らかになりました。ゲームや動画視聴については依存性も指摘されており、脳の発達や人格形成にも影響を及ぼすことはよく知られていることですが、前述したような、大人と子供との有意味な雑談も減っているのではないかと心配になりました。

◆大人に求められていること

社会では、つい軽い気持ちでいじめや誹謗中傷に関わる内容を SNS に書き込んでしまう子供の事例が後を絶ちませんし、SNS を通して子供が犯罪に巻き込まれている事案もあります。また、ゲームや動画視聴に依存してしまい学力不振や不登校につながっているケースもあります。

そのようなネット社会における課題が山積する中で、大人の役割は重要です。まずは、子供がスマホやタブレットで何をしているのか、誰とどんなやり取りをしているのかなど、利用状況を詳しく把握することが大事なのではないでしょうか。そのうえで必要な制限を設けたり約束を決めたりしながら、子供が自分自身の判断で適切に利用できるような力を育てていく必要があると思うのです。加えて、スマホ等の機器に依存しすぎない生活を私たち大人自身が心掛け、必要に応じ適切に利用している姿を子供たちに見せていくことが重要なのだと思います。何よりも、大人と子供がひとつのメディアを共有し雑談すること、その時間がとても大切なのではないのでしょうか。